

がん化学療法指示書

登録番号 273

作成日 2021/3/10

レジメン名	ニボルマブ+イピリムマブ療法 (MSI-High大腸癌)
診療科・対象疾患	(外)MSI-High大腸癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	4コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
オブジーボ	ニボルマブ	240mg/body	day1
ヤーボイ	イピリムマブ	1mg/kg	day1

治療内容	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール							
							day1	day21	
注射	Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●							
	Rp2	癌	オブジーボ(ニボルマブ)	240mg	30分	点滴静注メイン	●							
			生理食塩液	100mL										
	Rp3		生理食塩液	100mL	30分	経過観察用	●							
	Rp4	癌	ヤーボイ(イピリムマブ)	1mg/kg	30分	点滴静注メイン	●							
			生理食塩液	100mL										
	Rp5		生理食塩液	50mL	15分	経過観察・フラッシュ用	●							
	内服													
その他必要薬剤														
総投与時間	Day1: 1時間50分													
血管外漏出リスク	オブジーボ(ニボルマブ): 非壊死性抗がん剤 ヤーボイ(イピリムマブ): 非壊死性抗がん剤													
投与時の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> オブジーボ(ニボルマブ)、ヤーボイ(イピリムマブ)はフィルター付きルート要 オブジーボ(ニボルマブ)投与完了後、次の抗がん剤投与まで30分以上間隔をあける。 													
備考欄	Infusion Reaction Grade2の場合、オブジーボ(ニボルマブ)あるいはヤーボイ(イピリムマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠													